

令和2年度 かけがわのぞみ保育園 事業報告書

【施設運営状況】

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、園運営をする上で非常に悩んだ一年でした。しかし、行事や生活面においての当たり前を見直すいい機会になり、改めて子ども主体の保育を考えることが出来ました。そして職員間の話し合いの場を多くとり、園全体で考えていくスタンスが築かれたように思います。地域をはじめ、希望の丘の施設との交流においては、全て中止となりましたが、コロナウイルスを知る一年であり、園として、感染対策の基盤作りが出来たように思います。収束の見通しが見つからない状況の中ではありますが、子ども達の笑顔を守り、保護者の気持ちに寄り添いながら、引き続き園運営をしていきたいと思ひます。

【職員の状況】

職名	令和2年4月1日の職員数					年間退任・就任								令和3年4月1日の職員数							
	正 規 職 員	有期契約職員			計	正規職員		有期契約職員				計	正 規 職 員	有期契約職員			実 人 員 合 計	常 勤 換 算			
		契 約 職 員	非 常 勤 A	非 常 勤 B		就 任	退 任	就 任	退 任	就 任	退 任			就 任	退 任	契 約 職 員			非 常 勤 A	非 常 勤 B	常 勤 換 算
園長	1			1								0	1				1	1			
主任	1			1								0	1				1	1			
保育士	17		2	19				1		1		1	12		2	2	16	15.1			
看護師	1			1								0	1				1	1			
栄養士	1			1								0	1				1	1			
調理員	1		1	2	1					1		2	2				2	2			
保育補助	0		1	1								0	0		1	1	2	1.3			
調理補助	0			0								0	0				0	0			
事務員	1			1							1	1	1		1		2	1.6			
嘱託医	0	2		2								0	0	2			2	0			
計	23	2	0	4	29	1	0	0	0	1	1	2	0	4	19	2	3	4	28	24	

* 臨時職員の内、非常勤Aは正規職員の所定労働時間と同じ労働時間で雇い入れられた時間給職員、非常勤Bは正規職員の所定労働時間より短い労働時間で雇い入れられた時間給職員です。

【利用者支援状況】

毎日の保育は、子どもたちの発達・育ちを理解し、それぞれの年齢や個々に配慮した計画を立て、実践をしました。様々な行事や活動においては、例年通りには行えない状況でしたが、感染対策をした上での内容を考え、子ども達と一緒に楽しむことができました。

保護者支援においては、子育ての悩みに耳を傾け、個々に応じて面談を設け、じっくりゆっくり話せる環境作りを整えてきました。園と家庭と一緒に、子育てをしていくことが必要であると感じています。また、子育ての楽しさを発信しました。引き続き、意見箱の設置も継続しました。

【利用者状況推移】(各年度4月1日現在)

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
R1年度	6	17	21	21	23	24	112
R2年度	6	18	23	23	23	23	116

【主なできごと】

年間行事予定 別途添付

【その他について】

安全管理

- 防災訓練 ・毎月1回 避難訓練、消火訓練を実施した。
- 防犯訓練 ・防犯教室、防犯訓練を年1回ずつ実施した。
- 健康管理 ・嘱託医による園児の健診、職員の定期診断及び職員の細菌検査を毎月実施した。
なおノロウイルスの警戒時期(10~3月)には調理職員を対象にノロウイルス検査を実施した。
・健康管理には最善の注意を払い、感染症については早急にお知らせを出した。
・健康観察カードを子ども・職員に配布し、毎日の健康チェックを行った。
・コロナウイルス感染予防として、マスク着用・手指消毒の協力を促した。
・送迎者は、保護者1名のみとし、小学生以上のお子さんは園内への出入りを控えてもらった。また、体調を崩している場合は、送迎の際は正面玄関にての引き渡しとした。
- 衛生管理 ・おもちゃの消毒や室内の清掃、感染症の流行前には予防を、流行時には消毒を徹底した。
・新型コロナウイルス感染予防の為に、今まで以上におもちゃ・室内の消毒、清掃を徹底するようにした。一日1回、園内消毒を使用頻度の多い箇所を重点的に行なった。
・大人用トイレには、アルコール消毒を置き使用後の消毒を行うようにした。
- 安全管理 ・毎朝、遊具点検をし、毎月、施設内点検・年齢別点検を行なった。

【地域交流】

地域の中学生・高校生や支援学校の生徒の職場体験においては、中止とし、手作り絵本やお正月飾りをプレゼントしていただき、お礼に手紙を渡すといった方法での交流となった。保育士養成校である専門学校生、短期大学生の実習等は、感染対策を行った上で、受け入れをした。

「夏まつり」と「もちつき会」は、中止とし、園内行事として取り組んだ。東病院での芋ほりには、感染対策を行いながらの参加となった。今年度は、「希望の丘」内事業所との交流事業は全て中止となった。

【研修実施状況】

別途添付

事業苦情内容及び結果の公表

件数	主な苦情内容		対応及び解決方法
1件	保護者 (1歳児男児 母親)	椅子の取り合いの際、相手の子に首をかじられて(爪が長かった)傷となった件について担任が母親に報告。園長謝罪をし、話をする。その際、先週末帰宅後胸辺りに青アザ(園内においては、友だちとのトラブルやケガをした場面が確認されていなかった)があり担任へ確認をしたが、返答内容に納得がいかなかった様子。園のケガなのか判断がつかない状況の中で、保育園で起きたケガではないと言うことは、プロ意識がない。園としてのケガの報告が統一されていない。	<p>クラス担任へ状況報告をし、話し合いを行った。</p> <p>2件の内容を再度確認し、改善すべき点をあげた。</p> <p>ケガの状態と母親への確認不足であったと反省。また、ケガが起きた際の環境の見直しもを行い、見届の徹底と、グループを分けて保育をする。爪の長い子への対応として、現在使用している健康観察表に、爪の検査項目を入れ(12月～)各家庭でも意識していただくようにした。</p> <p>その旨を、母親に理解をしてもらうように伝える。</p> <p>今回の件で、一番の重要な部分は、保護者対応であった。</p> <p>報告＝解決ではないことを再度、周知する。こちらの判断で、解決してしまわず、保護者の思いに耳を傾け、何が原因であるのかを、深く掘り下げていくようにする。園内で起きたことは、園の責任であることを再度周知する。</p>
1件	保護者 (匿名)	0歳児の担任保育士の子どもに対する態度に差がある。朝の挨拶の明るさや子どもとの接し方に偏りがある。自分だけが、感じているのではないかと思い、参観会へ父親に参加してもらい、該当保育士の様子を見てもらった。関わりの偏りがあったと父親からも報告を受けて、改めて気になった。教育上良くないと思うので、改善してほしい。	<p>クラス担任全員へ報告をし、該当保育士から聞き取りを行う。</p> <p>クラス間で話し合いをする。ゆとりのない状態での保育をせず、笑顔で保育をし、保護者の方には気持ちに寄り添い分け隔てなくコミュニケーションを取っていくと報告を受ける。</p> <p>緊急会議を開き、全職員に報告・指導を行う。日々の保育の振り返りが必要。個々の基準での判断ではなく、子ども達・保護者の目線に立った視線で、保育や支援を行うようにする。</p> <p>該当保育士だけでなく、クラス全体、園全体で子どもたち、保護者をサポートしていく意識をしっかりと持っていくよう再度、徹底した。</p>